



6月8日(土) ㊿ 10:00-14:00 於 An棟2階 コンベンションホール (予約不要)

ERSシンポジウム「能登半島地震の被害とこれから」

ERSは1967年に 耐震構造学研究グループ：Research Center for Earthquake Resistant Structureとして生研内で発足して以来、災害被害の軽減に向けて総合的な研究活動を継続してきました。2024年の生研公開では、令和6年能登半島地震の被害とこれからについて、ERSグループの専門家メンバーが、最新の調査結果や知見に基づき報告いたします。

プログラム

- 10:00-10:10 挨拶 (川口 健一 教授)
- 10:10-10:40 清田 隆 教授「地盤被害について」
- 10:40-11:10 福島 佳浩 助教「木造建築の被害について」
- 11:10-11:40 浅井 竜也 准教授「鉄筋コンクリート造建物と津波被害について」
- 11:40-12:10 加藤 孝明 教授「都市火災と復興の観点から」
- 12:10-12:40 川口 健一 教授「天井等の落下被害について近年事例も含めて」
- 12:40-13:10 大原 美保 教授「災害レジリエンスとその可視化の観点から」
- 13:10-13:40 沼田 宗純 准教授「地域防災の実態的観点から」
- 13:40-14:10 目黒 公郎 教授「地震防災と復興の観点から」